

# 富山県高P連会報

第 115 号  
2016.9

編集発行

富山県高等学校PTA連合会  
発行人 会長 石坂兼人  
富山市千歳町1-5-1  
富山県教育記念館41号  
TEL 076(432)2810  
FAX 076(432)1501



## ご挨拶

富山県高等学校PTA連合会  
会長 石坂兼人

この度、平成28年度総会において、富山県高等学校PTA連合会会長に就任いたしました富山高等学校PTA会長の石坂兼人でございます。副会長を始めとする役員の方々と、事務局はもとより、各単位PTAの皆さまと共に、子どもたちのさらなる成長と教育環境の向上を目指して活動していきたくと考えておりますので、本連合会の運営が円滑に図られるよう皆さま方の引き続きのご支援とご指導をお願いいたします。

さて、私達の高校時代と現在とでは、子どもたちを取り巻く社会の生活環境も価値観も大きく変わっています。とりわけスマートフォンやSNSに代表されるネット環境は、情報化社会への大変革を起し続けています。これは家族や友人たちとのコミュニケーションや連絡スタイルの変化や、身近にしかなかった交友関係が大きく広がり、本分である学習スタイルにまでも変化をもたらしています。

スマートフォンへの依存、日常生活や学習習慣の乱れ等、子どもたちへの悪影響が日常的に及んでいる状況では、保護者の今までの経験や知識だけでは対処が難しくなってきています。当連合会では、一昨年度より「イレブン・セブン運動」と銘打ち、スマートフォン使用のルールづくりを中心に情報化社会への対応を学ぶ活動を行ってきました。今年度も継続的に子どもたちが直面するネットの危険性を保護者も子どもたちも学べるように活動していきたく考えています。

また、平成29年7月には富山で北信越地区高P連研究大会が開催されます。皆さまには、様々なご協力をお願いすると思いますが、大会の成功に向けご理解とご協力をお願いいたします。

会長として、まだまだ微力ではありますが皆さまとともに、未来を生き抜く確かな力を付けた子どもたちを社会に送り出したいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

WE HAVE RIGHTS! 発行  
高校生のための主権者読本



本連合会では、本年6月19日より施行された公職選挙法改正による選挙権年齢の18歳以上への引き下げを受けて、高校生のための主権者読本「WE HAVE RIGHTS!」を作成し、5月末に県立高校、特別支援学校高等学校3年生に配布しました。

この冊子は、A5版14ページからなるイラストの入ったわかりやすいものとなっています。主権者として相応しいリテラシー育成の一助となり、子どもたちの選挙に関する関心の高まりや投票率の向上につながっていくことを期待しています。



### 平成28年度定期総会開催

6月7日富山電気ビルにおいて、平成28年度県高P連の定期総会が約220名の参加を得て開催され、新役員が次のように選出されました。

顧問 牧田和樹

会長 石坂兼人(富山)

副会長

佐々木基安(魚津) 橋爪健一郎(富中)

木倉雅彦(高岡) 河合常晴(砺波)

坪池 宏(富中)

会計監査

藤井義成(雄山) 今井 英(工藝)

P側理事

岡本清伸(桜井) 毛利賢一郎(滑川)

柳田 毅(富工) 田中智浩(富商)

瀬戸博之(富東) 刑部清人(小杉)

蓮間好一(高南) 本田利麻(砺工)

高松 透(福野) 高田幸男(石動)

T側理事

沢井友義(滑川) 福島英晴(魚津)

木村博明(富山) 菅流谷正博(富工)

麦谷直人(富商) 米谷和也(高岡)

菊池政則(工藝) 林 誠一(高南)

藤井修二(砺波) 竹田 誠(福野)

山田敏彦(高志支援)

幹事

笹川正範(泊) 鶴山るり子(みどり野)

寺島禎一(富工) 山下行雄(いずみ)

蔵堀茂尚(富東) 村田憲三(新湊)

安田孝志(高西) 利田右子(福岡)

上田晃嗣(福野) 辻ゆかり(安野)

関口利浩(富山高等支援)

広井 睦・横田淳一(事務局)

# 共学共育

―他校のPTA活動に学ぶ―

## \*滑川高校PTA\*

「親子のコミュニケーションを  
深めるPTA活動」

本校のPTAは、会長1名、副会長18名、学年役員36名、監査2名で、委員会は、生活保健委員会、企画広報委員会、研修委員会の3つで構成されています。

生活保健委員会では、さわやか運動をはじめ、今年から地元の機原神社の祭礼巡視を行い、地域の方々と共に子どもたちを見守っています。



また、昨年の学校保健委員会では、適切な食生活の在り方と睡眠がとれるようにするにはどうしていけばよいかについて、子どもたちが自ら考えを深める機会とし、PTAや専門家のアドバイス・意見も取り入れ行いました。今年は12月の予定です。

企画広報委員会では、年3回PTAだよりを発刊し、子供たちの部活動や研究発表などの様子、保護者アンケートの結果、各研修会の保護者の感想などを掲載しています。

研修委員会では、保護者会時に行うアンケート、生徒会とPTAの語る会、小型実習船を活用した研修会

を企画・運営しています。

生徒会とPTAの語る会は、年度ごとのテーマはさまざまですが、生徒とPTAが相互に質問や意見を述べる形式をとり、活発なグループ討論や全体討論が行われています。



また、7月に小型実習船「かづみ」による沿岸航海と海洋観測や体験操舵を行い、本校海洋科の実習内容を体験するとともに、富山湾上から非日常的な視点で、ふるさと滑川の沿岸や立山連峰の様子を観察し、親子や保護者相互の親睦とコミュニケーションを図り、有意義な研修となりました。



総合制高校である本校は、特色ある行事がたくさんあり、地域や関係諸団体の協力をいただく中で、私たちは、PTA活動を通して、子どもたち、先生方、保護者がお互いの立場を理解し合う状況を作り、将来、子どもたちが、社会に出た時に重要となる「コミュニケーション能力」と「協調性」を伸ばしてやりたいと思っています。

滑川高校PTA会長

毛利賢一郎

## \*八尾高校PTA\*

「地域に根ざした学校を支え  
共に進むPTA活動」

本校PTAは、会長1名、副会長6名、広報・研修・地区・各学年の各委員長6名、監査2名、教育振興会会長の16名で役員会が構成されており、これに各委員会所属30名が加わって合計46名で全体役員会が構成されています。

本校は八尾という地域に根ざした学校ですが、旧婦負郡地区にある大規模中学校からの進学者が多いという特徴があります。そのため、生徒の主な出身地区ごとに副会長を選出していただいています。



PTAの主な活動として、昭和の時代から続いている地区別懇談会は、地区ごとに学校とPTAが膝を突き合わせることで、学校の様子や各地区PTAの悩みなどを本音で話し合っています。通学バスの運行や部活動、学習のことなど、各地区で特色のある討論会になっています。

また、生徒代表とそれぞれの学年PTAが本音で話し合う「親と子の懇談会」は、先生方を一切交えず、なかなか先生方に直接言えないこと

などが、参加している生徒から出てきたりもします。自分

分の子供と同じ学年の生徒から今どんな事を考えているのか、また親としてどんな事を子供に対して考えているのか、お互いの考えを打ち明けあうこともあります。第3学年では進路に関して親の思い、子の思いが出てきます。実際、自宅に帰ってから我が子ともう一度じっくり語り合うこともあるようです。



3年に1度行われる学園祭「高啼祭」では、PTAも協力します。前回は「焼きそば」の屋台を出しました。生徒の出す模擬店の内容と同じにならないよう、また生徒皆が楽しめるよう駐車場係を引き受けるなど、その時々で参加方法を変えながら一緒に楽しんでいます。

昨年からは「大人の遠足」を行っています。先生方にも協力していただき、進学希望の多い県内大学や短大を見学してきました。いずれは、企業や県外大学へも見学に行きたいと考えています。

「自主・自律」を目標に掲げ、活発なPTA活動をこれからも行いたいと思います。

八尾高校PTA井泉会会長

岩本 公一

＊志貴野高校PTA＊

「子どもの健全な成長を

支援するPTA活動」

「教養としての礼節、  
芸術の促進を通して」

本校PTAは会長1名、副会長6名、監査2名と委員33名で構成され、会長と監査を除く役員は、生活指導委員会やカルチャー委員会、広報委員会のいずれかの委員会に所属しています。

生活指導委員会は、夏と秋の年2回の6日間、朝8時30分からさわやか運動に参加しています。生徒会のメンバーとPTAは、登校する生徒や通行する人たちと学校前であいさつを交わします。コミュニケーションの基本となるこの活動は、子どもたちにも私たちにも意義のある活動であると思います。

カルチャー委員会では、年に2回のカルチャー研修会を実施し、会員



同士の交流の場を提供しています。

今年度7月に実施した第1回の研修会では、胡弓とピアノ・シンセサイザーのジョイント・リサイタルを開催し、心地よい音色を楽しみました。

昨年度の第2回目は、本校のスクールソーシャルワーカーの方から講演をいただき、子どもとの関わり方等で考えさせられることも多い研修会となりました。

広報委員会では、年に3回「志高だより」を発行し、子どもたちの学校での様子や活躍、PTA活動の連絡や報告などをカラー紙面で会員にお伝えしています。

このほかにも昨年度10月の文化祭では、子どもたちと協力してチャリティバザーを実施しました。売上げは高岡まこと銀行に寄付しました。

このように志貴野高校PTAでは、様々な取り組みを通して生徒と学校保護者の連携を図り、子どもたちの成長をサポートしています。今後よりPTAが参加しやすい雰囲気を作りたいと思います。

志貴野高校PTA会長  
林 利広



地区指導者研修会報告

新川地区指導者研修会

日時 6月15日(水)

会場 魚津高等学校

分科会と発表校

第1分科会 高校教育とPTA

新川みどり野高校 阿川直樹副会長

第2分科会 進路指導とPTA

滑川高校 毛利賢一郎会長

第3分科会 生徒指導とPTA

泊高校 水見陽輔会長

講演

「立山信仰と 日本のカミ・ほとけ」

富山県立立山博物館

主任学芸員 加藤 基樹 氏

高岡地区指導者研修会

日時 6月15日(水)

会場 ウィング・ウィング高岡

分科会と発表校

第1分科会 高校教育とPTA

新湊高校 油谷秀隆会長

第2分科会 進路指導とPTA

高岡西高校 羽廣 範会長

第3分科会 生徒指導とPTA

大門高校 立野正士会長

第4分科会 家庭教育とPTA

高岡高校 木倉雅彦会長

講演

「高岡山町筋の発祥・発展と その呉西への影響」

前高岡市立博物館長 晒谷 和子 氏

富山地区指導者研修会

日時 6月28日(火)

会場 富山高等学校

分科会と発表校

第1分科会 高校教育とPTA

中央農業高校 品川弘味会長

第2分科会 進路指導とPTA

富山南高校 中川賢哉会長

第3分科会 生徒指導とPTA

富山北部高校 武田啓介会長

第4分科会 家庭教育とPTA

水橋高校 前里睦美会長

講演

「アドラー心理学から学ぶ 親の在り方」

りばていOne代表

臨床心理士 坂本美奈子 氏

砺波地区指導者研修会

日時 6月15日(水)

会場 砺波まなび交流館

分科会と発表校

第1分科会 高校教育とPTA

南砺平高校 折口和男会長

第3分科会 生徒指導とPTA

南砺福光高校 土永勲会長

第4分科会 家庭教育とPTA

南砺福野高校 高松透会長

特別支援教育とPTA

となみ総合支援学校 上田春江会長

講演

「LINEのご紹介と子どもがインターネットを利用する際の注意事項」

LINE株式会社

柴田 保文 氏

# 北信越地区高P連 研究大会福井大会

平成27年度北信越地区高P連研究大会が7月8日・9日に福井フェニックスプラザ他で開催され、北信越5県から約1200名、本県から169名が参加しました。

初日は開会式に続いて福井農林高校郷土芸能部の歓迎アトラクションがあり、潑刺としたあざやかなばちさばきを披露し感動を覚えました。

引き続き分科会が4会場に分かれて行われ、1日目の行事は終了しました。



2日目は「宇宙開発という仕事と意義」と題して、三菱重工工業株式会社防衛・宇宙ドメイン宇宙事業部宇宙システム技術部計画課主席チーム統括の田辺義慶氏による記念講演がありました。田辺氏は、これまで携わってこられた宇宙開発の仕事について熱く、わかりやすい語り口で、お話しされました。常に宇宙へのロマンを持ち続け、研究に邁進されていることがひしひしと伝わってきました。また、一人の父親としての思いも垣間見ることのできる講演でした。あっという間に時間が過ぎました。

平成29年度は、富山県民会館を主会場に、7月7日・8日に開催されます。閉会式では、本県の石坂会長が開催に向けて力強く挨拶を行いました。

## 分科会発表概要

### 第1分科会（高校教育とPTA）

「中央農業高校PTAの取り組み」

PTA活動の活性化を図るために教育内容を知る研修会を

中央農業高校PTA会長

品川 弘味

本校は富山市南部の山間地中腹に位置し、36ヘクタールの広大な敷地と豊かな自然環境を有している。県下唯一の農業科単独の全日制高等学校であり、県農業教育の中核としての歴史を重ね、文部科学省から農業経営者育成高等学校の指定を受けている。生徒数243名、普通教育・農業教育・寄宿舎教育を3本の柱とし、豊かな心を持ち、人生を切り拓く実践力を身につけた生徒の健全育成という基本理念のもとに教育活動を行っている。



さて、保護者が学校の教育活動を知る情報源として、「学校行事カレンダー」、「寮保護者研修会」、「教育安全メール」、「PTA通信」あかつち、「PTA総会と学年・学級懇談会」などは概ね有効に機能しているところである。しかし、よりPTAが主体となつて開催する「PTA研修会」は、数年前までは参加者が少なく低迷気味であったため、PTA役員が中心と

### PTA研修会日程 H28.5.31(火)

- 8:30～受付
- 8:40～開会式、意見発表(体育館)
- 11:50～バーベキュー(農場センター)
- 13:40～プロジェクト発表(体育館)
- 14:30～中農ウォッチング(会議室)
- 15:00～農場見学、解散

なつて検討し、「学校行事への参加をPTA研修会の場にしよう」と話がまとまり、平成25年度から内容を変えて行っている。

今年度は、学校行事の「春の農業祭」に併せてPTA研修会を行った。意見発表では、PTA役員の代表が審査員に加わり全体の審査に関わるとともに、独自に「PTA特別賞」も授与した。生徒たちと一緒に楽しんだバーベキューでは、子どもがクラスに馴染んでいる様子を確認するとともに、保護者間の親睦が深まる良い機会でもあった。最後の農場見学は、とても楽しく印象的であり、学校への関心が益々高まった。このような研修会に形を変えてからは参加者が急増し、今年度は平日にもかかわらず48名の参加があった。

PTA活動の一環として学校の行事に参加することによって、学校の教育内容等をより広く深く知ることができ、学校への関心・理解が強まる。そしてそのことが、PTA活動の活性化にも繋がっていく。このように保護者が機会を捉えて積極的に学校と関わることが大切である。また、PTAとしても、できる限り学校をサポートしたいと考えている。

### 第2分科会（進路指導とPTA）

「本校の進路指導とPTA活動」

キャリアデザイン・

プロジェクトSとの関わり

高岡南高校PTA会長

蓮間 好一

本校は、地域に普通科高校設置をという熱い願いのもとで創立し、昭和49年の開校以来「文武両道」の道に邁進してきました。現在は県下有数の進学校として、多くの実績を残しています。そして生徒は「元氣南」を合い言葉に、学部と部活動の両立を目指しています。卒業生は一昨年度末で一万人を越え、地元のリリーダーとして多方面で活躍しています。



さて近年、次のような問題が指摘されています。  
● 将来の社会で自己の姿を思い描けず、進路意識や目的意識が希薄なまま、とりあえず大学に進学している。

生徒は学習に対して、主体的に学び行動する姿勢が希薄である。これらの課題に対し、本校では「キャリアデザイン・プロジェクトS」というキャリア教育に取り組んでいます。三年間を見通した、そのプロジェクトのねらいは、次のとおりです。  
● 高い志と目標を持って将来の在り

方や生き方について考えさせることで、生徒の潜在能力を引き出す。働くことの意味、学問の意義に気づくことで、生徒の主體的な学びの意欲を高める。

●多様な職業人との出会いや新しい学問に触れる体験を重視し、社会に役立つリーダーを育てる。

この中で、1年次のキャリアデザイン・ゼミナールでは、働くことの意味、自分の「生き方」「あり方」について学んでいます。キャリア講演会、パネルディスカッション、ゼミなどで、私たち保護者も講師を務めています。今年のパネルディスカッションでは、「夢に向かって生きるんだよ」とのテーマのもと、講師、生徒、保護者の代表が意見を出し合いました。私も保護者の代表として、パネラーを務めました。生徒は自分の現在持っている将来の夢を話し、保護者は子どもに対する思いを話すなど、お互いの本音の思いの一部を知ることができたのではないかと思います。

生徒のアンケートでは、「在り方・生き方について学んだ」との回答が、事前・事後の比較で倍増するなど好評でした。

子どもの進路について、学校と連携しながら積極的にかわっていくこと、生きる意味や学ぶ意義を親の言葉として発信する場を学校に求めていくことで、今後も学校の進路指導を理解し、応援し、支えていきたいと思えます。

**第3分科会（学校教育とPTA）**

「学校と連携したPTA活動」

「子どもたちの豊かな成長を願って」

泊高校PTA会長

氷見 陽輔

本校は、地域との連携を図りながら、今年76年の歴史を迎える朝日町唯一の高校です。



本校では、同町内の朝日中学校と連携して教育活動を推進しており、互見授業や部活動の交流を行っています。また、ボランティアサークルや生徒会が中心になり、数多く町内でのボランティア活動を実施しています。なお、県内では先陣を切っており、1年生の総合的な学習の時間を活用し、毎週体験的な授業を導入しています。さらに、普通科の中に観光ビジネスコースが設置されており、地域の観光資源の学習や実践的コミュニケーション能力の養成等に

りの発刊等を行っています。

学校では子どもたちの小さな変化を見逃さず、変化を認めながら子どもたちと接しており、子どもたちの心に寄り添えるようカウンセリングマインドを持つて対応されています。私たち保護者も子どもたちの学校生活が健全で充実したものになるよう学校と連携して生徒の指導に取り組むことが大切だと考えています。

そのために、「さわやか運動」や祭礼巡視以外にも、新たに学校の教育活動に保護者参加の機会を模索し、今まで以上に相互理解が図れるよう本校の特色であるピア・サポート活動（公開授業や学校保健委員会（福社施設での入所者との交流や車いす清掃など）の様々な活動に生徒と一緒に取り組まれました。

このような交流する機会を多く設けたことにより、学校へ行く機会や我が子との会話、保護者同士の交流が増え、高校をより身近に感じ、学校で指導されていることを理解することで、我が子が感じていることに共感できました。

学校と保護者が手を携え、多面的に子どもを理解することこそ、より良い生徒指導につながると思います。

私たちは、これからもPTA活動を通して学校・家庭・地域を繋ぐ役割を率先して果たしていきたいと思えます。今後、本校の特色ある学校活動に協力・支援し、PTA一丸となつて取り組んでいきたいと思えます。

**第4分科会（家庭教育とPTA）**

「家庭教育とPTA」

「生活アンケートを通して」

南砺福野高校PTA会長

高松 透

本校は明治27年に富山県簡易農学校として創立され、今年で122年を迎えました。平成22年には普通科、農業環境科に福祉科が新たに加わりました。福祉科は、在学中に国家資格受験ができ、合格すれば、卒業後、即介護福祉士として就職出来る制度があります。得意分野を活かせる3学科が共存し、互いに刺激し合い、認め合い、仲間意識を高め、一緒に高みを目指す、それが本校最大の特徴だと思います。



本校PTAでは毎年2回、広報誌「いわお」を発行しており、今まで様々な特集を組んできました。昨年発行の127号では、家庭での親子の様子をアンケート形式で明らかにしてみました。

まず初めに「全体的に自分に満足している」という質問に本校生徒は「そう思わない」が全国平均より高く、「時々自分は全然ダメだと思う」という質問には「そう思う」が全国平均より高くなりました。この2つの結果から、本校生徒は「少し自分を過小評価」する傾向があるように見えます。

自己肯定できる子は何事にも積極的に、前向きに物事を考える事ができると言われます。保護者、学校が

連携をし、子ども達のそれぞれの特徴、長所をどうやって伸ばして行くか、どうフォローするのか、今後の検討課題だと思えます。

自分の進路を考える上で親にやめて欲しい態度(生徒)という質問に対し、多かつたのが「勉強や成績の話ばかりするのは止めて欲しい」そして「自分の経験だけをもとに話さないで欲しい」でした。

家庭教育とは「子どもに何をどう伝えて行くのか、親が考え、学び続ける、親学びが原点」だと思えます。常に親の背中、生きる姿勢を子どもに見せる事、日頃の親の行動、言動が、家庭教育そのものだと思えます。それぞれの家庭で、子どもの「自立」の為の適切なサポートをする事が重要です。

そこで、先生方から親へのアドバイスはとても貴重なものであり、親に見せない子どもの顔を垣間見る事ができます。先生方は、色々な角度から専門的な知識と共に子ども達の様子を教えてください。子どもが学校で何をしているか知る、そのためにも学校で何が行われているか知る、学校で子どもはどんな顔をしているのか知る、そして今、子どもはどのような気持ちで居るのかを客観的に受け止めようとする心掛けが子どもとの生活を充実したものにすると思えます。

常に子どもを応援する気持ちを忘れずにいたいものです。子どももそういう親の姿から学ぶ事も多いと思います。今後とも学校と家庭が連携して子どもを見守り育てる活動を進めていきたいと思えます。

## 第66回全国高P連大会 千葉大会

### 「再発見！愛」 〜今こそ信じよう愛の絆〜

をテーマに、第66回全国高P連大会千葉大会が、8月25日・26日に千葉市の幕張イベントホールをメイン会場、国際展示場9ホールをサブ会場として開催されました。全国から約1万人、本県からは121名が参加しました。

アトラクションでは、2日間にわたりメイン会場、サブ会場において、千葉県内各高等学校の吹奏楽部、箏曲部、ジャズ・オーケストラ部、和太鼓部、バトン部の皆さんが躍動感あふれるすばらしい演奏や演技を披露し、また、大会テーマソングの熱唱もあり大いに魅了されました。

明石要一氏(千葉敬愛短期大学長)による「高校生の自立を支援するPTA活動の在り方」〜今こそ信じよう高校生を〜と題する基調講演、7会場に分かれての分科会、女優の市原悦子氏による朗読も織り交ぜた「私の選んだ女優の道」と題する記念講演などがあり、気づきや学びの多い研究大会となりました。

25日には本県の教育懇談会を上野のホテルパークサイドで開催し、県高P連の会員親睦の和を深めることができました。

次年度の大会は平成29年8月24日・25日に総合運動公園エコーパ(静岡県袋井市)他で開催されます。

### 参加者の声

全国高P連大会千葉大会に参加させていただき、ありがとうございます。戦後70年を経て日本は急速なスピードで少子高齢化や核家族化が進み、地方では人口減少が深刻な問題になっています。また、携帯電話やスマートフォンが普及し、コミュニケーションの多くがSNSを介して行われ事で地域社会における人々の絆が希薄になってきている様に感じています。今回講演会や分科会に参加させていただき、今こそ愛の絆を信じ、変化し続ける社会を生きる子ども達の健全育成のために学校・家庭・地域社会が三位一体となって連携する必要性を改めて痛感し、私達PTAの活動の重要性を再発見する機会になりました。

富山県高P連主催の教育懇談会では100名を超える会員が集い親睦を図ると共に、様々な情報交換を行う事で絆を深め、とても充実した時間を過ごす事ができたと思います。日中は熱く移動時は汗だくになりましたが、多くの出会いと気づきを得る事ができ、関係各位の皆様方から感謝申し上げます。  
(雄山高校PTA会長 藤井義成)

## 平成28年度表彰

本年度の全国高P連大会、北信越高P連研究大会で、次の皆さまが表彰されました。

▼優良PTA文部科学大臣表彰  
団体 南砺福光高校PTA

▼全国高P連会長表彰  
団体 富山高校PTA

個人 尾上一彦(前高P連副会長)  
野村竹伸(前高P連理事)

役員 牧田和樹(前高P連会長)

▼北信越地区高P連表彰

牧田和樹(前高P連会長)  
河合晃充(前高P連副会長)  
高畑寿太(前高P連副会長)  
森 脩(前高P連会計監査)  
藤井一範(前高P連会計監査)  
清水好勝(前高P連事務局長)

### 編集後記

第115号も昨年度に引き続き紙面の充実を目指し、多くの方に寄稿していただきました。寄稿を依頼した皆さまには、快くお引き受けいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、県高P連では、今年度、11〜7運動の継続、高校生のための主権者読本の発行などを始めとして、高校生がより輝き・成長することを願い活動を推進しています。

来年は、富山で北信越高P連研究大会が開催されます。今後とも会員諸氏のご理解とご協力よろしく申し上げます。事務局長 広井